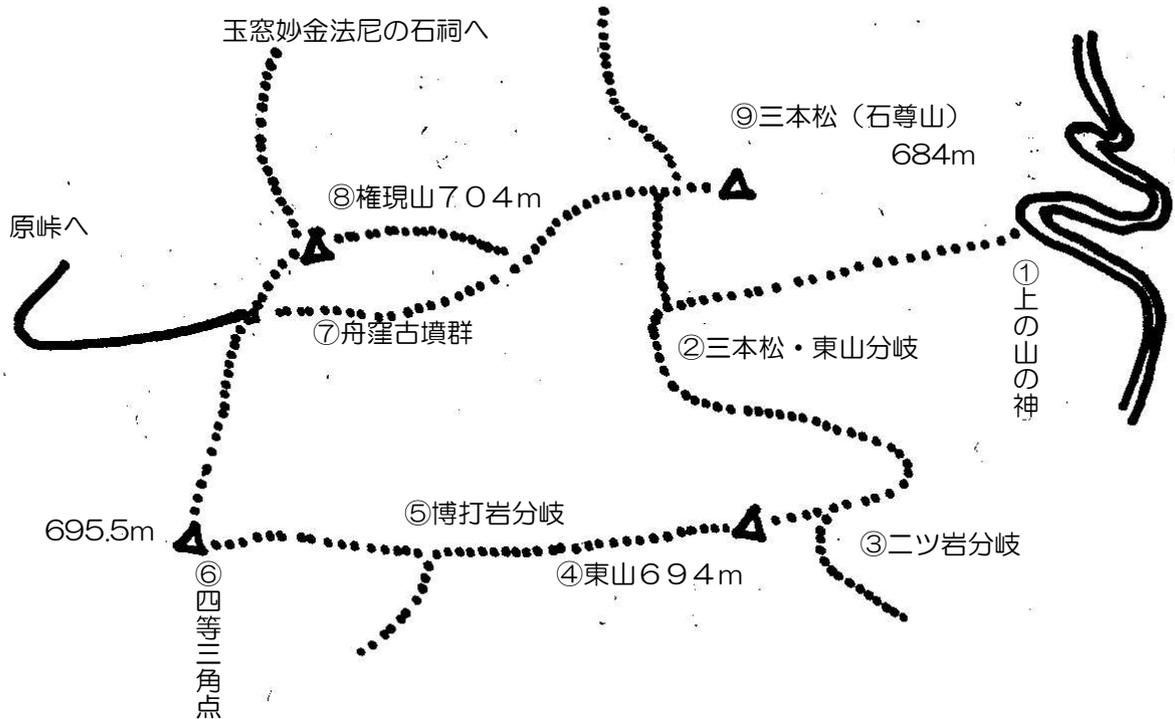


『諏訪形誌』を歩く 第18回イベント

春の東山・権現山・三本松・玉窓妙金法尼石祠を巡る

期 日 : 2025年 4月 12日 (土)
日 程 : 一般コースの皆さん 集合 8時30分 解散 11時30分
健脚コースの皆さん 集合 8時 解散 12時
※コースの様子などによって多少時間が前後しますので、お含み下さい。



- 健脚コースの皆さんは諏訪形公民館に8時集合・出発で、「①上の山の神（右写真）」に向かいます。
- 一般コースの皆さんは諏訪形公民館に8時30分集合、車に分乗して「①上の山の神」に向かいます。
- 「①上の山の神」で両コース合流。開会行事を行います。
- 「①上の山の神」から「②三本松・東山分岐」への道は、最初の100mほどは浸食された沢の中を歩きます。ここがこのコースの中で一番の難所です。足下に気をつけて慎重に進んで下さい。
- 沢から林道に出ると、道幅も広がって坂も緩やかになります。
- 右手に「三本松（石尊山）」への登山口を見て、少し登ると東山への登山道入口です。
- 東山への登山道に入ると、まずちょっと急な登りになりますが、すぐにゆるやかな登りへと変わります。東側の足下にワールド重機の処理場が見え、音も聞こえます（多少臭いもあることがあります）。



- 尾根の末端を回り込むと、東山への急な登りになります。急ではあっても短い登りなので、ゆっくり行きましょう。「二ツ岩」へのトレッキングコースの案内板（③左写真）を過ぎると、ほんのわずかで「④東山（694m）」の頂上に出ます。塩田方面や蓼科山、烏帽子岳方面の景色が楽しめるピークです。



東山（694m）山頂から塩田方面の眺望

- ・「④東山」から「⑤博打岩分岐」まではかなり急な下りになるので、要注意です。滑らないように足下を確かめながら歩いて下さい。
- ・急な下りが終わると、気持ちのよい尾根歩きになります。しばらく行くと「⑥四等三角点」に到着します。



- ・「⑥四等三角点」を右に折れ、しばらく下ると、原峠からの道に合流します。ここから「⑦舟窪古墳群」までは100mほどです。
- ・「⑦舟窪古墳群」の中を通り抜け、北側の斜面を少し上がると「⑧権現山（704m）」です。ここには「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんによる、山頂の標識（右写真）が建てられています。

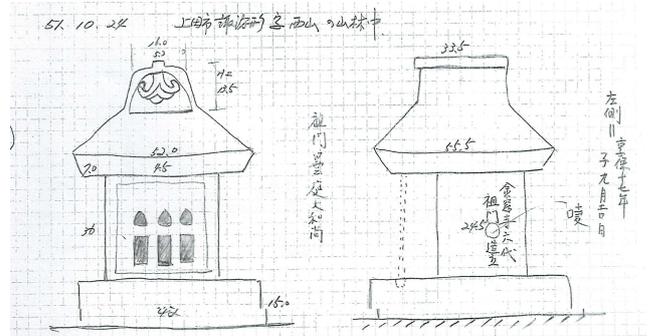
- ・「玉窓妙金法尼の石祠」へはこの「⑧権現山（704m）」を越えて北寄りに下っていきませんが、今回はまず、「⑨三本松・石尊山」へ向かいます。



- ・「⑨三本松・石尊山（684m）」の頂上にも「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんによる、山頂の標識が建てられています。ここからの眺めは素晴らしいものがあります。この場所で閉会行事を行います。
- ・一般コースの皆さんは、権現山からのルートを少しだけ戻って（下って）左（南）に折れ、「②三本松・東山分岐」に下山します。その後、登ったときと同じコースを通して「①上の山の神」に戻ります。最初にも書きましたが、沢の中を歩くときには足下に十分注意して下さい。上の山の神で車に分乗して帰宅していただきます。

-
- ・健脚コースの皆さんは「⑨三本松・石尊山」から「⑧権現山」へのコースに戻ります。
 - ・「⑧権現山」の山頂を越え、「玉窓妙金法尼の石祠」に向かいます。このコースでは、「⑧権現山」からの下りや「玉窓妙金法尼の石祠」のすぐ上の部分が急な下りになるので、要注意です。

- 「玉窓妙金法尼の石祠」から「ボーイスカウトのキャンプ場」に向かうルートは難関です。足下には伐採された樹木がたくさん転がっており、足場がかなり悪くなっています。また、草木が人の背丈より高く茂っている場所もあります。十分に気をつけてガイドの後を歩いて下さい。



北沢伴康さんの野帳（1976年）から

- 藪を抜けて見通しが良くなると林道まであと僅かです。最後はかなり急な下りが残っているので、気を抜かないで歩いて下さい。また、直前の天候などにもよりますが、急坂の下に湿地を通り抜ける場所もあるので、足回りはしっかりしておく必要があります。
- はじめじめした道を抜けると通称「殺人坂」上の林道に出ます。ここから諏訪形公民館に向かいながら流れ解散となります。



「ナチュラリストクラブ・うえだ」の皆さんによる案内地図